

令和 2 年 安茂里地区
成人祝賀式 挙行される



犀北・犀北第二・小市・園沖・小市団地・小市南団地・中御所のみなさん 令和 2 年 1 月 3 日

さて、私たちが生まれた平成の時代も幕を閉じ、令和の時代を迎えました。令和初年度となる昨年は様々な出来事がありました。最も大きな出来事は各地で猛威を振るった台風災害でしょう。災害の爪痕は今なお濃く残っています。一刻も早い復興に向け、ボランティアの協力を受けて

本日私たちは人生の大きな節目を迎えました。こうして無事に成人式を迎えることができたのも共に学びあった仲間たち、我が子のように接し、指導していただいた先生方、温かく見守ってくださった地域の方々、そしてなにより、今日という日を待ち望み、厳しくも、愛情深く育ててくれた両親のお陰です。新成人を代表し、改めて感謝申し上げます。

新成人代表謝辞
笠井 悠斗



復旧作業が続いています。私たちも自分は何ができるのか考えて実践することが重要だと思えます。これからの人生、大きな困難に見舞われようとも大人としての自覚と責任をもち、社会に貢献できるよう努力していきましょう。私たちがなかにはすでに社会に出て働いている者もいれば、進学して学業に励んでいる者もおります。置かれた状況は人それぞれですが、皆一社会人としてはまだまだ未熟です。今後とも皆様のご指導ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

民主主義社会をめざし昭和 21 年 7 月、全国に公民館が設置され 74 年を経た現在、公民館の指定管理化や交流センター化といった新たな動きが進行中、初期の理念である「地域住民の日常生活に密着し、課題解決を図るための総合的な社会教育施設である」ことを再確認して、2 期目の安茂里公民館をめざした

市内にある市立公民館・交流センター 29 館の内、現在 10 館が指定管理を受けている。その一つ安茂里公民館も、地区住民自協が指定管理を受けて運営しているが、今春 3 月で最初の 1 期目 3 年間の指定が終了となる。引き続き 2 期目 5 年間の指定管理が 4 月から始まることになったが、最近では新たに指定管理を受けようとする公民館は出ていない。▼ 3 年前新生安茂里公民館は、地域住民にとってより親しみのある利用しやすい公民館をめざし、和菓子作りや燻製等新規の講座を増やしたり貸館に力を入れ、利用者が気軽に来れるよう心がけ、毎年 5 万 3 千人余りに利用していただいている。近年はとくに社会教育への関心も高まり、知識・教養を得るため自主的に活動をする動きがあり、公民館の役割は今後更に期待されるところである。▼ 戦後

報 館
あもり

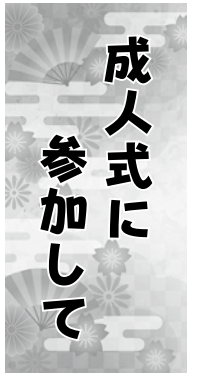
発行所
 長野市立安茂里公民館
 電話 226-4059
 発行人 多田井 幸視
 発行月 5.7.9.11.1.3月
 (株) 信光社

安茂里地区 世帯数と人口
 (2月1日現在)

世帯数	9,127戸
総人口	20,934人
男	10,043人
女	10,891人

杏仁

市民協が指定管理を受けて運営しているが、今春 3 月で最初の 1 期目 3 年間の指定が終了となる。引き続き 2 期目 5 年間の指定管理が 4 月から始まることになったが、最近では新たに指定管理を受けようとする公民館は出ていない。▼ 3 年前新生安茂里公民館は、地域住民にとってより親しみのある利用しやすい公民館をめざし、和菓子作りや燻製等新規の講座を増やしたり貸館に力を入れ、利用者が気軽に来れるよう心がけ、毎年 5 万 3 千人余りに利用していただいている。近年はとくに社会教育への関心も高まり、知識・教養を得るため自主的に活動をする動きがあり、公民館の役割は今後更に期待されるところである。▼ 戦後



成人式に参加して

新たな挑戦

久保 志織



私は4月より、社会人として働き始めます。ずっと、私が社会人になるなんて実感が湧かず、4月からの生活に不安を抱いていました。しかし、先日の成人祝賀式で中学時代の友人と再会をし、学業に励む人、就職をして働いている人等、様々な場所で努力している友人の姿から、私達も中学生の頃より少しは成長しているのだと実感しました。そして、春から社会人になることに對しての不安も、少し和らいだ気がします。また、恩師とも再会し、当時や現在のお話をさせて頂いたことでとても心が温まり、勇気付けられました。今は友人も県内外と様々な場所にいますが、同じ学び舎で3年間勉強や部活動に励んだ思い出を胸に、4月からの新しい生活に挑んで行きたいと思えます。

私は4月より、社会人として働き始めます。ずっと、私が社会人になるなんて実感が湧かず、4月からの生活に不安を抱いていました。しかし、先日の成人祝賀式で中学時代の友人と再会をし、学業に励む人、就職をして働いている人等、様々な場所で努力している友人の姿から、私達も中学生の頃より少しは成長しているのだと実感しました。そして、春から社会人になることに對しての不安も、少し和らいだ気がします。また、恩師とも再会し、当時や現在のお話をさせて頂いたことでとても心が温まり、勇気付けられました。今は友人も県内外と様々な場所にいますが、同じ学び舎で3年間勉強や部活動に励んだ思い出を胸に、4月からの新しい生活に挑んで行きたいと思えます。

大人になる日

大谷 美樹



子供の頃、「20歳」というとすごくお姉さんで大人で、自分になるのは当分先のことだと思っていました。ですがあつという間に成人式。実際、誕生日を迎えて20歳になってみて、子供の頃と何も変わっちゃいないな、と感じます。

確かに20年の間で色々経験して、出来る事も沢山増えました。でもまだまだ未熟で、成人というのは肩書きだけで、未だ自分は随分と子供であると感じます。

今後、もつとずっとと苦労して、辛い事楽しい事悲しい事沢山経験して、そしてやっと本当の意味で大人になれる日まで、もがいて葛藤して生きていきます。



進行務めた司会者

市民を救った災害記念碑

「裾花の薫」

昨年秋の台風19号による千曲川沿いの堤防決壊や越水による被害は甚大であった。同じような水害が、昭和24年9月にも起きている。豪雨により裾花川下流の堤防決壊が引き起こした洪水被害は、中御所・九反・荒木・大豆島・朝陽・柳原・長沼を含む市内3分の1を巻き込む大水害となった。当時はまだ自衛隊もなく、警察や消防も対応に大わらわの中、県知事・市長は当時信大教育学部南側にあった長野刑務所の受刑者1000人に、出動要請をしたのであった。



記念碑「裾花の薫」

日間の重労働にもかかわらず誰一人逃亡する者もなく、市民の安全を守った。雨の中を黙々と作業に当たった受刑者達の姿に、市民は感嘆し、刑務所への感謝とともに、「受刑者達を見直した」という声が多くあつたという。後に受刑者たちの真摯な姿を称え、永遠の象徴としての記念碑「裾花の薫」を建て、現在もその後移転した須坂市の長野刑務所内に大切に祀られている。

公民館運営委員会から⑩ 運営委員を振り返り

運営委員 鳥居 文雄



運営委員を振り返り感じたい事は、公民館利用者の多い事に驚く。場所が安茂里の中央に立地し、支所、保健センターに隣接と条件も良いためか、利用者の年齢層は幅広く、目的別に区役員や文化芸能継承者の皆さんが切磋琢磨

を、腕前や知識を更に伸ばそうと日々努力をしている。貸館や公民館の事業計画と多目的講座の内容は、更に充実し好評だ。

中でも杏の里文化講演会は、内容が豊富でこれからの安茂里地区住人には更に参加を拡大して、一大イベントにしたもの。公民館のホームページをみると、第一期指定管理が終了し、今後次期指定管理を進めるなかで、地域公民館の行事や活動内容について身近な地域のなかでお互い支え合い助け合うことを目標にしたもの。

公民館の運営には、利用者の声や意見要望をすぐにつかみ、次期指定管理に反映をしたいものだ。安茂里公民館の二階図書室には、安茂里地区を拓いた歴代区長の大先輩の写真が見守っている。もし立ち寄られたら一度は拝見し、故郷の発展に寄与されたことに感謝したいものだ。

公民館講座 の紹介

○藁の文化とドンド焼き

1月12日午前市立博物館の企画展示で「藁の文化展」を見学し、一昔前の手仕事で作るワラジや年中行事用の藁馬など、ハレ(晴れの日)やケ

(日常の日)に藁を利用した生活を学芸員から丁寧な説明を受けた。また昨秋の19号台風被害の古文書や仏像等の修復作業現場も案内され、ボランティアの方々が取り組んでいる様子も学ぶことができた。午後は正月明け各地でドンド焼きが行われていた日、篠ノ井塩崎長谷・越のドンド焼きを見学した。安茂里周辺で



越の「オスガタサマ」

見られるドンド焼きとは形体が違い、県無形民俗文化財に指定された「オスガタサマ」「カンタサン」「オンマラサマ」3体を見て歩いた。下ろした正月飾りの藁で造作し、脇にある道祖神碑前で燃やすもので、どれもムラの安泰、五穀豊穡、子宝祈願等を願ったものであった。珍しいドンド焼きを見学でき一同満足して帰路についた。

藁の文化と

ドンド焼きに参加して

大内 眞

1月12日の講座は、市立博物館での藁の手仕事見学会でした。私が中条に嫁入りした頃の事が垣間見えるような暮らしが、そこにはありました。馬屋では、爺ちゃんと汚れた藁の堆肥を、縄で編んだモッコで庭に運び出し、藁をザクザク切って交互に積んで肥やしにしたものでした。また、藁草履などの生活用品、年中行事で使われた正月飾りや藁馬、めでたい結納の品々など数々展示されていました。午後は篠ノ井塩崎地区のドンド焼きです。越地区のオスガタサマは藁人形の周りに正

月飾りや達磨を積み上げ、袖には世界平和、災害復興、夫婦円満、子孫繁栄と書いた紙が飾られていました。もう一つは大根で男女の顔を描いたカンタサン。また、顔は女性、下半身は男性という平地区のオンマラサマにも詣でてきました。今までに見たことのない珍しいドンド焼きに、所変わればの感がする見学会に参加でき、いい思い出になりました。

○人権住民集会開催

1月18日(土)、日本精神療法学会理事 松本文男氏を講師に、「花ひらく 努力の日々」と題する安茂里地区人権集会が開催された。日々の生活における心の病について、その対処は聞いてあげること。その人を丸ごと抱えてやることの大切さについて、各種の事例を通して講演いただいた。



松本文男 先生

感謝を込めた大掃除 空手の「長野柳心会」

小市分室を利用する子ども空手道の「長野柳心会」の皆さんが、今年も稽古納め時に部屋利用に感謝を込め、保護者も一緒に大掃除をしてくださいました。利用している部屋を道場ととらえ、心身ともに鍛えている姿勢にエールと感謝を送りたいです。



柳心会 大掃除

短歌趣味の会

激動の昭和平成生き伸びて
米寿の秋に平和ことほぐ
林 道子

スエーデンの
十六歳のグレッタさんと
未来の地図を描く若者
伝田 紀昭

被災をも力に替へて生きる人
笑顔を作り皆を励ます
酒井 純子

十歳の姪へと選ぶプレゼント
可愛きキャラに心ときめく
磯野 智子

高齢の友のもてなし
ゆるゆると
時空を超えて冬日楽しむ
小林 道子

「この帽子丁度いいね」と
夫のいう
百円ショップは秘密にしよう
寺島 みき子

息子住む遙けき街に越しし友
真紅のバラの垣根残せり
磯野 博康

新春の上田城址は晴れ渡り
櫓かすめて大鷲の飛ぶ
小林 靖子

第44回囲碁将棋大会
地区対抗戦行われる
(令和2年2月2日)

《団体戦の結果》

囲碁の部	優勝	平柴台
	準優勝	小市
	3位	差出中
将棋の部	優勝	小市 A
	準優勝	伊勢宮 A
	3位	差出北

令和2年度

成人学校講座の内容

場所/長野市立安茂里公民館

講座名	曜・時間	1 学 期	2 学 期	3 学 期	講 師
手あみもの (定員20名)	(月) 午前 10:00 ～ 12:00	◎1枚ごとに製図及び割り出しを指導。修了までには一人で製図ができます。 ○棒針編みの基本技法を学ぶ ○やさしいベスト ○かぎ針編みベスト	○横編みテクニック ○レース模様のカーディ ○かぎ針編みの小物	○Vネックプルオーバー ○流行あみものなど	岡村 啓子
英会話(初級) (定員30名)	(月) 午後 1:30 ～ 3:30	○中1～高1程度の内容 特に、中学校で学習する文法や会話表現をしっかりと学ぶ。 ○リスニング、リーディング、音読を通して様々な英語を浴びる。 ○4～5月は、英語を思い出すようにあいさつ、数字などの基礎を重視する。 ○海外旅行で使用するための基本的な表現を身につける。 ○週末の出来事などについて話せるようにする。			向山 智子
書道 (定員20名)	(火) 午前 10:00 ～ 12:00	○漢字の学習 ・基本技法 ・楷書を習う ・行書を習う ・隷書を習う ○調和体の学習 ・基本学習 ・身近な言葉を書く ○かなの学習 ・いろは単体を習う ・変体がなを習う	○漢字の学習 ・草書を習う ・古典を学ぶ ・楷書、行書、草書 ○調和体の学習 ・詩、歌、文章を書く ○かなの学習 ・古筆を学ぶ ・俳句を書く ・和歌を書く	○作品の制作 ・漢字、調和体、かなともに 作品に仕上げる	新井 清玉
実用英会話 (定員20名)	(火) 午後 1:30 ～ 3:30	○絵カード、会話カード等を使って基本的な英語の表現力をつける (中2～高1程度の内容) ○日常生活などについてできるだけ英語で話してみる	○絵カードを見て、英文を作ったり、クラスメートに質問したりしてみる ○新聞やTVのニュース、身の回りのできごと等について話してみる	○更に会話力をつける ○フリートーキング	近藤 秀子
水彩画 (定員20名)	(木) 午後 1:30 ～ 3:30	○水彩画の基本的な心構えについて ○水彩画の特徴を知り有効的な表現を高める ○いろいろな用紙の特徴を知り、その特徴を活かした表現を心がける ○用具、材料などを自分が使いやすいよう工夫してみよう ○デッサン力を高め表現や感動を豊かにしてみよう ○線や面を意識して内容表現をより独創的なものにしよう ○色を高め、混色・滲み・暈しなど技法を身につけ、より向上に努めよう ○静物画・風景画・人物画・構想表現等を通して、ものをみる力や表現する力を養い感動を高めよう ○構図・配色・透明感・遠近感・質感等の表現が高めるようにする ○様々な表現をして水彩画の楽しさを知り、さらに自分しか出来ない個性豊かな表現をしてみよう ○自然の美しさに感動し写生などの活動に幅を広めて楽しさを倍加できるように努めよう ○作品研究や批評会を通して自己の表現の幅を広め資質の向上に努める ○公民館の行事に参加し作品展示を通じて地域社会と交流し、また市内のギャラリーで展示し鑑賞者の意見に留意し向上に努めよう ○いろいろな展覧会を鑑賞し、または出品して資質の向上に努める ○新入生については個別にわかりやすく具体的に指導しますので安心して、ご参加ください			飯島 文隆
楽しむ 「かな書道」 (定員20名)	(金) 午前 10:00 ～ 12:00	「書」を生活の中で楽しむためにまず、かな書道の基礎を学びます。 (太筆、細筆を使用) ○かなの基本線 ○ひらがなの単体 ○変体がな ○連綿 (2～5文字くらいのもの) ○俳句を細筆で書く	○和歌の行書き ○手紙(年賀状を中心に) ○散らし書き ○太筆での作品制作	○和歌や俳句を短冊や半懐紙に書く ○作品に仕上げる ○「書」を生活の中で楽しむ	日詰 静琴

成人学校への入学手続き等

- ① 1学期受付日 令和2年4月3日(金) ※10時から(新規受講者) ※10時45分から(継続受講者)
- ② 受講料 各学期8,000円(学期毎に) 釣り銭のないようにお願いします。(材料費等は含まれません。)
- ③ 回数 週1回で年間36回(1学期12回)